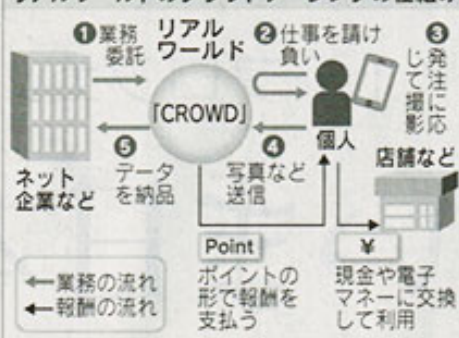


# スマホ撮影 個人に依頼

## リアルワールド

リアルワールドのクラウドソーシングの仕組み



ポイントサイト運営会社のリアルワールド(東京・渋谷、菊池誠晃社長)はスマートフォン(スマホ)のカメラを使って個人が空き時間に外出先で手軽に報酬を得られるサービスを始める。店頭価格や最新の市場動向の調査を企業から請け負い、各地に点在する店舗の現地調査などを近くにいる個人に委託する。来年9月までに累計1500万件的の仲介を目指し、新しいサービスとして定着させる。

### 店舗の現地調査など

## 企業の需要 仲介

ネットを活用して不特定多数の個人に仕事を仲介する「クラウドソーシング」事業の一環。スマホの急激な普及を受け、外出先での細切れの

時間を生かせる個人向けサービスとして新メニューを開発した。主に学生や主婦などを対象とする。

利用する個人は空き時間に専用アプリ(応用ソフト)を起動。現在地付近で請け負い可能な仕事地図上に一覽される。店舗の外観や店内の値札など発注内容に応じて撮影し、送信すると報酬を得られる仕組みだ。



報酬はリアルワールド専用アプリを用い、現在地付近で請け負い可能な仕事を地図上から選ぶ。

▼クラウドソーシング 群衆を示す「クラウド」と業務の一部を外部委託する「アウトソーシング」を組み合わせた造語。在宅勤務の一種で従来と違い、業務の発注から報酬の支払いまでネット経由で完結する点に特徴がある。クラウドソーシングのポイントを形で作成するポイントの形で付与する。一定額ためると現金や電子マネーなどに交換できる。交換比率は10倍1円。1日約2時間ずつ働いた場合、1カ月(20日間就業)で1万5000円前後になるといふ。同社はクラウドソーシングを2008年に「CROWD」の名称で開始。大規模の800万人の顧客基盤を生かし、会員がパソコンさえあればデータ入力や文書作成などをやって収入を得るサービスを提供してきた。累計30万人に対し1000万

のスキルのある人に一定業務を丸ごと委託するタイプと、業務を細分化して単純作業化し知識がない人でも携われるタイプがある。委託する業務は各種申込書の手書き欄をパソコンで入力し直したり、ページの仕事を紹介した実績がある。CROWDの強化に伴い、仕事を提供したい企業の開拓も積極的に進める考えだ。例えば家電製品やガソリンなど価格や相場が変動しやすい商品・サービスの最新価格をまとめたウェブサイトなどの需要を想定している。口コミサイトが新規参入する場合にも、消費者から一斉に市場の状況を集めるのに役立つとみている。

リアルワールドはサイバーエージェント出身の菊池社長が05年に創業したベンチャー。ネット上のさまざまなサービスと連携してポイントのためられる事業で急成長し、利用者に付与したポイント総額は50億円に及ぶ。最近ではシンガポールやインドネシアなど海外にも進出している。